

令和3年度事業報告

1、事業主体、施設

事業主体名 社会福祉法人三重健寿会

代表者名 理事長 柿澤善樹

施設名 特別養護老人ホーム往還

所在地 三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田 564 番地

主な事業 特別養護老人ホーム往還 100 名
介護保険事業所番号 2472200365

往還ショートステイ 10 名
介護保険事業所番号 2472200373

デイサービスセンター往還（通所介護、介護予防通所介護）
19 名
介護保険事業所番号 2472200530

障害者ショートステイ往還 空床利用
事業所番号 2412220283

電話番号 059-377-6011

FAX 番号 059-377-6001

E-mail oukan@ccnetmie.ne.jp

Home page <https://miekenjukai.com>

施設の概要 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 3,311.36 m²
鉄骨造陸屋根 3 階建 1871.67 m²
合計 5183.03 m²

建造物使用概要

西棟

1階ショートステイ（老人、障害者）	
花水木ユニット	10室
1階入所専用	
花菖蒲ユニット	10室
1階デイサービス	19名
2階入所専用	
菊ユニット	10室
皐月ユニット	10室
桜ユニット	10室
3階入所専用	
藤ユニット	10室
蔦ユニット	10室

東棟

1階 往還ホール	
2階 入所専用	
紫陽花ユニット	10室
撫子ユニット	10室
3階 入所専用	
白梅ユニット	10室
水仙ユニット	10室

2、総括

老人福祉法に定める理念に基づき、老人福祉を推進するため、平成17年8月3日、社会福祉法人三重健寿会を設立した。さらに平成18年6月16日、特別養護老人ホーム往還を開設した。

全室個室、ユニット方式で運営する利点をさらに追及してきた。従来型に比べ、「個別に対応する、家庭的でゆったりとした介護」を目指してきた。入浴介助は感染予防の観点から多人数でなく一人用の浴槽を用いた個浴による入浴介助にて行っている。排泄介助はオムツによる排泄を極力なくし、特に昼間はリハビリパンツを使用し、便器で排泄するようにしてきた。これはユニット入所者10名の排泄リズムとサインを理解することにより対応でき、ユニット型の典型的利点である。介護保険制度昨年年4月改定で1ユニットの定員を15名（以下）と変更した。今後設立されるユニット型特養は1ユニット

15名定員となる。15名では高齢者のリズムとサインを見抜くことが難しくなる可能性が高い。6年前、入所者平均介護度が一時期4.10となり、その頃増築した東棟には一般個室でなく全て機械浴的個室を導入した。最近介護度が3.7まで下がり、一般個室の浴槽を要望する声が出ている。

現在、全てのユニットにて、「麺の日」（木曜日）、炊き込みご飯以外は、朝昼晩とユニット炊飯を行っている。食事前、食堂に炊飯の湯気と匂いがただよい、少しでも家庭的雰囲気味わえるようにしている。

デイサービス事業は平成21年10月に開始した。利用者数は伸び悩んでいるどころか減少していた。一貫して赤字でありながら、在宅介護から入所介護の一貫性。居宅介護支援センター、デイサービス、ショート、入所という4本柱を軸とし、介護全般を担う体制を求め継続していた。昨年、職員が退職し、少人数の利用者相手の新しいデイサービス職員が集まらず、一旦、事業を休止することとした。

当施設も入所待機者への対応（介護5で複数の待機者がいた）、施設経営安定のため、40床の増床を平成25年4月1日より行った。また、平成26年4月1日より、ショートステイ20名を10名とし、10名分を入所定員へ振り分け、入所定員100名となっている。当施設設立時と比べ、周辺の要介護老人入所施設定員は概算で3倍以上に増えている。また、二昨年度から入所利用率が低くなり当然経営状態が極端に悪化している。昨年度は経営状態が少し改善された。

現在定款には第二種社会福祉事業として、（イ）老人短期入所事業の経営（ロ）老人デイサービス事業の経営と共に（ハ）放課後児童健全育成事業の経営（二）障害福祉サービス事業の経営を列記している。北欧にて行われている高齢者、幼児、障害者の三者を融合させた施設を検討していたが、学童と介護老人を接触されることは様々な感染防御の観点から危険であり、学童保育運営地確保の点からも事業としては除外が適当である。

地域包括ケアシステム具体化、介護保険制度改正が始まった。介護保険本体の給付から要支援1、2への給付、訪問介護、通所介護を外し、対応するサービスを地域包括事業として再編する。通所介護、特に定員10名以下の小規模型については地域密着型へ移行させ、新たな事業所開設については保険者の管理下に置く。特養への入所を原則介護3以上にすること、利用者自己負担を2割（経済状況により3割）にするなどが行われてきた。「施設でない高齢者住居の確保」、「在宅での生活継続のしくみづくり」、「在宅での看取り」を視野に入れた改正が平成30年4月よりおこなわれている。団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるように、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」、「多様な人材の確保と生産性の向上」、「介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保」を図ることを目的としている。

昨年4月改定ではデイサービスでの入浴介助で、自宅での入浴支援を行うことについて

加算が設定された。「自立支援」は入所介助でも以前から唱えられていた。今後ショートステイでも同様の加算が設定される可能性がある。

職員の研修について、施設内での研修に重点を置き多数の研修会を行った。外部事業者を講師として当施設職員を対象として「介護福祉士実務者研修」を行った。また、当施設独自で「介護職員初任者研修」事業を行ったが現在は「介護福祉士実務者研修」と同様に外部業者が他施設職員を対象として当施設で行っている。介護職員研修は介護業界を充実させる為、当職員が受講しなくても継続は重要である。

各種委員会を設け、個別の課題に、専門的に検討し、施設運営に還元してきた。

施設設立 2 年目以来、毎年秋に「往還祭り」を開催し、利用者ご家族、地域住民等にも来て頂いた。東棟増築以降、施設が広くなり、雨天の場合も予定通り行えるようにと建物内で行っていた。しかし新型コロナ感染症拡大前 2 年間、特に阿波踊りを屋外で行った。阿波踊りは四日市市の「極楽連」の皆さんに来ていただいた。朝日中学校吹奏楽部の演奏も行っている。職員のサークル「和太鼓」演奏も披露された。阿波踊りは「車イス阿波踊り」として入所ご高齢者は車イスで、ご家族職員とともに輪になって踊り、楽しいものである。「極楽連」の方に協力を仰ぎ、往還祭り恒例の出し物にしてゆくとよい。「車イス伊勢朝日音頭」も考えられる。しかし、現在は「新型コロナ」の影響で例年通りの開催様式でなく往還祭りをご家族の参加なしで開催している。阿波踊りも吹奏楽演奏も行わなかった。不定期に、フラダンス、舞踊など踊りや歌謡ショー、ギター演奏、定期的には大正琴演奏等に来ていただいていたが全て中止となった。現在、書道クラブ、お花クラブが活動している。カラオケは「新型コロナ」感染予防の観点から行わなかった。また職員内のクラブとして「和太鼓同好会」、「行き隊やり隊遊び隊」などクラブ活動を中止している。しかし、他の施設内行事はレク係職員が中心となり例年以上に行っている。今後、秋の往還祭りをどのような形にするのか、他の行事をどうするのか状況を見て判断する必要がある。家族の面会は高齢者の状態がかなり悪い方を除いてユニット内での面会を禁止し、往還ホール、正面玄関スペースで行ったり、タブレット PC を用いた「オンライン面会」を実施してきた。

施設内機関紙「往還通信」を平成 19 年 12 月より平成 25 年 5 月まで毎月 1 回発行していたがその後は 3 ヶ月に 1 回発行としている。「デイ通信」（ひまわりの唄）を平成 28 年 3 月より毎月 1 回発行している。施設内の行事など出来事を、主に利用者御家族、他の介護事業所を対象にして内部情報を発信するものである。広く対外的に情報を発信するものとして、インターネットホームページを平成 20 年 10 月から開設している。

3、年間利用者数（令和 3 年度）

入所申し込み待機者は令和 4 年 3 月 31 日現在、38 名（昨年 42 名、一昨年 43 名）であった。

入所者延べ人数は 34,350 名（昨年 34,053 名 30,418 名以下 30,978 名、34,089、35,885、34,885、35,349、30,584 ）であった。

入所利用率は91.4%（昨年93.3%83.3%以下84.8%、93.3%、98.4、95.5、96.8、93.1、99.01）であった。

入所者平均介護度は令和4年3月31日現在 37.17、（昨年3.62 3.65以下3.67、3.80、3.76、3.80、3.76、3.89、3.79、3.78、4.10、4.06、4.04、3.94）であった。

入所者で退所された人数は34名（昨年27名、以下35名、28名）で、施設内で看取ったのは19名（昨年17名、以下21名、21名）、病院移送13（昨年10名、以下11名、7名）であった。

3月31日現在入居者保険者		3月31日介護度別	
四日市市	13名（昨年15名、以下17名、31名）	介護5	13名（15名、14名）
桑名市	47名（昨年47名、以下36名、27名）	介護4	44名（42名、35名）
川越町	9名（昨年5名以下7名、8名）	介護3	32（32名、29名）
朝日町	13名（昨年19名、以下20名、13名）	介護2	2名（5名、5名）
東員町	3名（昨年5名、以下3名、3名）	介護1	1名（3名、1名）
菰野町	0名（昨年1名、以下1名、1名）		
いなべ市	1名（昨年3名、以下0名）		
川崎市	1名（昨年1名）		
名古屋市	1名（昨年1名）		
		平均介護度	3.72（昨年3.62 3.65）

ショートステイ

居室利用率（R3年4月～R4年3月）10床

昨年度一年間利用者の保険者(積算数)		利用者の介護度	
四日市市	7名（7名3名）	介護5	6名（6名、31名）
桑名市	27名（29名、28名）	介護4	61名（62名、56名）
朝日町	4名（5名、10名）	介護3	63名（54名、30名）
川越町	12名（12名、18名）	介護2	60名（44名、71名）
東員町	1名	介護1	48名（35名、40名）
員弁町	1名	要支援2	3名（2名、2名）
紀北広域連合	1名	要支援1	5名（0名、1名）

デイサービス

利用者の保険者数(純数)は		利用者の介護度	
四日市市	0名（1名、2名）	介護5	0名
桑名市	4名（5名、7名）	介護4	3名
朝日町	2名（2名、3名）	介護3	0名
川越町	2名（2名、6名）	介護2	3名

		介護1	2名
		要支援2	0名(0名)
利用者数		要支援1	0名(0名)
	月曜日		6名
	火曜日		0名
	水曜日		0名
	木曜日		3名
	金曜日		3名
	土曜日		5名

月別利用者数

令和2年	4月	78名(77名、104名、117名)
	5月	72名(85名、107名、130名)
	6月	62名(80名、103名、122名)
	7月	74名(82名、105名、105名)

4、職員体制(令和4年3月31日現在)

介護職員	正職員	社会福祉士	1名
		介護福祉士	28名
		介護福祉士実務者研修	9名
		2級ヘルパー	1名
	パート	介護職員初任者研修	1名
		無資格	4名(内1名理学療法士)
		介護福祉士	10名
		2級ヘルパー	1名
		介護福祉士実務者研修	2名
		無資格	0名
看護職員	正職員	看護師	2名
		准看護師	1名
	パート	看護師	0名
		准看護師	1名
機能訓練指導員	正職員		1名(施設長補佐兼任)

歯科衛生士	正職員	1名(生活相談員兼任)
介護支援専門員	正職員	1名
生活相談員	正職員	2名(1名歯科衛生士兼任)
管理栄養士	正職員	1名
事務員	正職員	1名
施設長	正職員	1名
施設長補佐	正職員	1名(機能訓練指導員兼任)
用務員	パート	3名
サポートスタッフ	パート	9名
管理宿直	パート	3名
嘱託医師		1名
嘱託歯科医師		1名

*資格所有者数

社会福祉士	1名
介護福祉士	41名
介護福祉士実務者研修	10名
2級ホームヘルパー	23名
介護職員初任者研修	6名
介護支援専門員	7名
社会福祉主事任用資格	1名
看護師	2名
准看護師	2名
歯科衛生士	1名
管理栄養士	1名
作業療法士	1名
理学療法士	1名

5、勤務体制

		始業	終業	休息
日勤	早番 (介護職)	6:30	15:30	1時間
日勤	平常	8:30	17:30	1時間
日勤	遅番 (介護職)	13:00	22:00	1時間
日勤	遅番 (看護職)	10:00	19:00	1時間
夜勤	夜勤	21:45	6:45	1時間

(看護職員遅番担当者は帰宅後、夜間オンコール体制に入る)

宿直者は17時30分から8時30分であるが、介護職遅番勤務者が帰った後、約22時30分頃より宿直室にて就眠可、朝は介護職早番勤務者が出勤する前に起床し、職員玄関を開ける。

用務(掃除洗濯)担当者は午後3時間半ほど2名が出勤する。

6、理事会, 評議員会等の開催

監事会 令和3年6月12日 15時から16時

理事会 令和3年6月12日 16時から17時

第1号議案 令和3年度事業報告

第2号議案 令和3年度決算報告

第3号議案 令和3年度監査報告

第4号議案 評議員選任・解任委員会細則改定

第5号議案 任期終了に伴う役員等選任への提案

第6号議案 任期終了に伴う評議員選任・解任委員選任と評議員選任への提案

第7号議案 評議員選任・解任委員会および今年度定例評議員会開催日時

評議員選任・解任委員会 令和3年6月16日 13時から14時

第1号議案 評議員選任

定例評議員会 令和3年6月26日 書面によるみなし決議

第1号議案 理事及び監事の選任

第2号議案 令和2年度計算書類及び財産目録承認

理事会 令和4年3月16日 書面によるみなし決議

第1号議案 欠員となった監事推薦

評議員会 令和4年3月23日 書面によるみなし決議

第1号議案 欠員となった監事選任

理事会 令和4年3月26日 15時半から16時半

第1号議案 令和4年度事業計画

第2号議案 令和4年度予算計画

第3号議案 評議員選任・解任委員選任

7、各種専門委員会(多職種会議時等に、随時行う)

入所判定委員 施設長、施設長補佐、統括主任、介護総主任、看護リーダー、管理栄養士、生活相談員、ケアマネ

身体拘束廃止委員会 同上

事故防止委員会 同上

感染委員会	同上
褥瘡委員会	同上
防災委員会	同上
給食委員会	同上
衛生委員会	同上
往還祭実行委員会	6月から10月

8. 職員研修実施内容

令和3年4月～令和4年3月

往還施設内勉強会（ネット研修を受講し課題提出）

教育（研修）の目的

社会人としての接遇マナー

チームで取り組むということの意味

介助の基本

腰痛予防対策と腰を痛めない介助法

立ち上がりを理解する

自立支援とは

廃用症候群の知識と坐位の効果

解剖学で座位を考える

拘縮のケア

異常の早期発見のための観察の視点

誤飲時の対応

食事介助時の姿勢

正常な排泄とは

入浴のアセスメント

感染・食中毒①介護現場での衛生管理

②標準感染予防策

感染対策において求められるもの

事故・身体拘束・権利擁護・ハラスメント・虐待

① ヒヤリハットの目的と意義、高齢者転倒予防、言葉の影響

② 不適切ケアと虐待身体拘束を行ってはいけない理由、身体拘束予防の具体策

外部研修

4月18日 ゴールペップトーク 鈴木孝氏・田上のりこ氏

5月13日 あざらしロボット「パロ」オンライン研修 堀容子氏

6月14日 令和3年度介護報酬改定と自立支援介護元年 重要性を増す口

腔ケアと関連加算の算定および LIFE の活用・施設運営に役立つ
歯科の活用方法 小濱道博氏・坂口英夫氏

- 1月24日 安全対策体制加算対応研修会
懸上忠寿氏・和田直之氏・栗田淳二氏・
尾島朱美氏・北村明美氏
- 1月25日 ADL維持等加算対応バーセルインデックス研修
①ADL維持等加算算定の流れ 懸上忠寿氏
②バーセルインデックスの測定方法 前田健司氏
- 2月22日 認知症高齢者等の意思決定支援 宇佐美千鶴氏

9. その他の研修

- 10月24日 実務者研修（10月24、31、11月7、14、21、28、12月5日）
2月6日 初任者研修（2月6、13、20、27、3月13、20、4月3、10、
17、24、5月1、8、15、22日）

10. 行事

- 4月1日 入社式
4月2日 お花見ご膳
5月7日 皐月ご膳
6月16日 開所記念日、開所記念ご膳
6月17日 永年勤続表彰
7月7日 七夕ご膳
7月11日 実務者研修説明会（動画での説明会対応に変更）
7月28日 土用の丑
7月31日 デイサービス休止
8月24日 サマーカップデザートパラダイス
9月6日 三重県知事選挙と三重県桑名市・桑名郡選挙区補欠選挙不在者
投票
9月17日 敬老お祝い膳
9月21日 十五夜おやつ
10月16日 往還祭り
10月20~23日 往還ホールに飾られたお花観覧（10/31 朝日町文化祭中
止のため）
10月25日 不在者投票
11月30日 寿司ご膳
12月24日 クリスマスメニュー、クリスマスイベント

- 1月1日 元旦、元旦ご膳、往還神社への参拝
- 1月7日 七草粥、新春お茶会
- 1月11日 鏡開き（ぜんざい）
- 2月2日 節分ご膳、節分の豆まきイベント
- 2月14日 バレンタインデー（手作りチョコケーキおやつ）
- 3月2日 ひな祭りご膳
- 3月23~30日 往還桜のお花見イベント

11. 防災訓練

- 6月28日 消防設備点検
- 8月19日 防災訓練（大雨や台風に備えた訓練）
- 12月2日 消防設備点検
- 3月10日 防災訓練（夜間想定での火災避難訓練・消火器訓練・マジック
ライスの炊飯）

12. 健康管理

- 5月13日 夜勤者健診、ストレスチェック
- 6月2日 コロナワクチン接種1回目①（利用者・職員）
- 6月9日 コロナワクチン接種1回目②（利用者・職員）
- 6月16日 コロナワクチン接種1回目③（利用者・職員）
- 6月23日 コロナワクチン接種2回目①（利用者・職員）
- 6月30日 コロナワクチン接種2回目②（利用者・職員）
- 7月7日 コロナワクチン接種2回目③（利用者・職員）
- 11月2日 入所者レントゲン撮影（往還ホールにてポータブル撮影機にて
約60名実施）
- 11月4日 職員健診、インフルエンザワクチン接種（利用者）
- 11月5日 インフルエンザワクチン接種（職員）
- 2月8日 産業医面談
- 2月10日 コロナワクチン接種3回目①（利用者・職員）
- 2月17日 コロナワクチン接種3回目②（利用者・職員）
- 入所者健康診断 集団検診ではなく随時行う

13. 職員会議の開催

- 運営会議（随時） 理事長、施設長、施設長補佐
- 多職種会議（毎月第2木曜） 施設長、施設長補佐、看護リーダー、介護

介護会議（毎月1回）	ユニットリーダー、 ケアマネ、生活相談員、管理栄養士 施設長、施設長補佐、介護ユニットリーダー、ケアマネ
ユニット会議	各ユニットで開催
看護師会議	看護リーダー、看護師
相談員・ケアマネ会議（毎月1回）	生活相談員（入所・ショート）、ケアマネ